

プリムの祭りと現イラン・エステルの中に見る患難前携挙

今日の預言アップデートの前に、お知らせがあります。これから2週間、休暇をいただく予定ですので、みなさん、ご了承いただければ幸いです。2か月前、大切な友人が私たち家族を“本当の休暇”の為の、資金提供をしてくれたのです。私がこれまで何年も過ごしてきたような、家で過ごす休暇でなく、一般の人たちが過ごすような“休暇”です。そして素晴らしい事に、私の留守中に、Bud Stonebreaker 牧師と、Danny Lehman 牧師がここに来てくださいます。ということで、みなさんにお会いするのは、2週間後です。ここか、あちらか、もしくは空中で会いましょう。私は、後者がいいなと思いますが、それに関して、今日の預言アップデートの中でお話しします。

まずは先週行われた、イスラエルのベニヤミン・ネタニヤフ首相と、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領の会談からです。ただ、世界で大きな力をもつ2人の指導者の対面という、この重要な会談に関する情報があまりにも少ないのです。正直言えば、私はとてもがっかりしました。というよりも、イライラしたと言った方が良くかもしれません。ここアメリカでの緊急速報によって、他のものすべてが、ほぼすっかり影を潜めてしまったのです。

まずは、オバマケアが、その分かり難さと紛らわしさの為、撤回、代替がなされる件についてです。それから、新しい入国禁止大統領命令に関しても、お伝えするべきでしょう。特にみなさんご存知だか分かりませんが、大統領命令に対して、ハワイが真っ先に異議申し立てをした件についてです。

今朝兄弟からこの知らせを受けたのですが、その時私は、自分の頭が正気であるか、彼に確認しました。正気を失ってもおかしくない程の問題です。本当に信じられません。どうやら、トランプに対して訴訟を起こしたのは、ハワイが第一号であるだけでなく、彼らが雇用した弁護士というのは、アルカイダのボディガードの一人の弁護を務めた人だそうです。よく考えてみてください。「ハワイに住むなんて、ラッキーだね！」と、それでも言えるでしょうか？

しかしながら、これらの進展は、預言的に世界の舞台を整える意味では、大きな役割を成しています。

イスラエルとロシアの面談は、それを上回って預言的に大きな意味がありました。今日はそれについてお話ししたいと思います。まずはこの、Haaretz の報道からです。

——「イスラエルは、いかなるイランの恒久的な、シリア駐在にも反対する。」と、ネタニヤフがプーチンに伝えた。ベニヤミン・ネタニヤフ首相は木曜日、彼がロシアのウラジーミル・プーチン大統領との対談の中で、以下の点を強調して伝えたことを、記者たちに告げた。「イスラエルは、シリア内線終息の名目で、イランやその他の入植者を、シリアへの永久入植に至らせる合意には反対する。」「私はこれを明確にし、メッセージは内在化されたと思う。」とネタニヤフはさらに伝え、さらに加えて言いました。「シリアに関して、あらゆる政治的合意に対するイスラエルの考えを、プーチンに明確に示しておきたかったのだ。」「私にとっては、入植に時間がかかったとしても、イスラエルの立ち位置は変わらないことを、明確にしておくことがとても重要だったのだ。」ネタニヤフは言いました。「私は、イランであれ、彼らの衛

星であれ、彼らがシリアに定着する事を断固反対する。イランがシリアに海軍基地を創設しようとしているのは分かっている。これは、イスラエルの安全に深刻な意味をもたらすものだ。これは安定を脅かし、また、シリアにおける政治的合意の可能性を傷つける。」とプーチンに伝えた。プーチンとの会合のはじめに、ネタニヤフは「イスラエルは、アルカイダやイスラム国のスンニ派過激テロリストの代わりに、イラン率いるシーア派過激テロなど要らない。」と伝えた。プーチンがネタニヤフに、プリムの挨拶を述べた後（これに関しては、後ほどお話しします）、首相は、このように言って答えた。「古代ペルシャ（現在のイラン）の時代に、ユダヤ人殺害の試みがあったが、それは失敗に終わった。だから、今でも祭日として、これが祝われているのです。」（ちなみに今こうして話している間にも、プリムの祭りは行われています。）ネタニヤフは続けます。「今日も、ペルシャ（イラン）の、ユダヤ人国家を破滅しようとする試みは継続されており、彼らは、可能な限り明確な形でそれを告げ、彼らは弾道ミサイルに彫刻しています。」——

ただ、単に彼らは言っているだけです。ただ『イスラエルに死を！』と。それだけです。それから、彼らはこうも言っていますよ。『アメリカに死を！』と。

この、ネタニヤフがプリムになぞらえて言った事に対するプーチンの発言が面白いと思ったのですが、The Times of Israelによると、プーチンはそれを退けただけでなく、「『過去に留まるな。』とネタニヤフを叱責した。」と報道されています。記事にはこう書かれています。

——ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は、イスラエルのベニヤミン・ネタニヤフ首相に言った。「過去に生きるのは止めなさい。」イスラエル首相が、プーチンとの面談で、太古ペルシャで、ユダヤ人の大量虐殺が阻止された事を祝うユダヤの祭りを、イランとの緊張に結び付けた後の事だ。「2500年ほど昔、ペルシャがユダヤ人を虐殺しようとして失敗に終わった企みは、現在記念として、プリムの祭りとなっている。今日、ペルシャの後継者（イラン）によって、ユダヤ国家を破滅しようとする試みはなおも存在する。」とネタニヤフは言う。プーチンは、なだめるように言いつつ、「ネタニヤフが説明した出来事は、紀元前5世紀に起こった事で、現在我々は違う世界に生きているんだ。今はそれについて語ろうじゃないか！」やり取りは、2人の指導者の根本的な見方の相違に注目され、ネタニヤフは自身が実在する存在の脅威、とりわけイランとその核プログラムからユダヤ人を守る、保護者のようだと述べた。かたやプーチンは、イランとの肯定的なつながりを維持する方法を模索。——

“エゼキエル38”だと言えませんか？聖書の中のユダヤ人の話を記念して行われるプリムの祭りは、モルデカイとエステルが、ペルシャの総督ハマンによって企てられたユダヤ人殺害計画を阻止したことの記念で、それを祝って、エステル記が朗読され、仮装して食べ物の贈り物を交換したり、食べたり飲んだりして祭りが祝われます。

記事は続きます。

——ネタニヤフとプーチンのやり取りに関して、イランからは、直接のコメントは一切発信されていない。——

そのこと自体が面白いですね。ネタニヤフが、シリアのイランに関してプーチンと面会しているほぼ同じころ、再び“ハレー彗星”がやって来ました。つまり、我々の新しい国連大使、ニッキー・ヘイリーの

事です。私は、彼女が好きですね。Jewish Pressによると、彼女は、あやふやな言い方を一切せず、明言したとあります。

——「イランと、その代理は、シリアから撤退しろ。」

ドナルド・トランプ大統領の国連大使、ニッキー・ヘイリーが水曜日、記者たちに伝えたのは、「シリアを安定させるためには、テロリストに安全地帯を残すべきでない。そして、イランとその代理を追い出す事が、非常に重要である。」——

言うておきますが、彼らはそれをする気は全くありません。

——ヘイリーは、シリアのバッシュール・アサド大統領を強制退任させる問題については発言せず、アサドは、ロシア、イラン、イランの代理であるヒズボラによる、手厚い支援を堪能している。——

今回、ハレー彗星（ヘイリー国連大使）にとっては大忙しの週で、彼女はまたシリアとイランに関する発言に加えて、国連のパレスチナについても発言しました。Breaking Israel が水曜報じたのは、

「ニッキー・ヘイリーが、パレスチナ人に対して、今後、国連は彼らを支援しないと警告した。」
記事を引用します。

——「パレスチナは、イスラエルとの対立の解決を、国連に期待してはいけない。ニッキー・ヘイリー米
国連大使は、火曜日のパレスチナ国連大使代理との初の面会で警告。就任間もないヘイリーは、国際集
団としての国連の、イスラエルに対する偏見は受け入れられないという事を、すでに明確なものとした。
——

これらすべてを通して私が伝えたいのは、イスラエルに攻め込む、ロシア、イラン率いる同盟国は、シリアを通して、出来上がりつつあるということです。私が心から信じている事、また長年信じてきたのは、シリアからイザヤ 17 章の形で触媒となり、ロシア、イラン、その他がエゼキエル 38 章、39 章の形で失敗に終わりますが、イスラエルに核攻撃を仕掛けます。

「しかし、神は」

しかし神は、エステルがこのような時、このプリムに、あの時はモルデカイが阻止したように、将来起こる、このイスラエル攻撃も阻止されます。

最後に、エステル記に見られる、「7 年の大患難に先駆けて起こる教会携拳」の、預言的描写についてお伝えします。それは次の通りです。

王妃ワシュティは異邦人の花嫁の型で、反キリストの型となるハママンが登場する前に取り除かれます。ハママンと同様に反キリストも、7 年間の大患難の間自分を捧めと命令します。ここで、イスラエルの型であるエステルに、全注目が注がれます。大患難の時、イスラエルがそうなるのと同様、ヤコブの苦難の時、イスラエルの苦難であって、教会ではありません。これは、ダニエルの 70 週目で、神の預言時計である 70 週の最後の 7 年。これは、ユダヤ民族の救いを目的とした 7 年の大患難で、教会はいなくなります。教会はいなくなるのです。私たちと、しばらく関わっておられる方ならご存知でしょう。このような予型論が、聖書全体を通して豊富に与えられています。

ヨセフでも、7 年の飢饉の**前に**、異邦人の妻を娶っています。エノクは教会の型で、ノアと彼の家族はイスラエルの型です。よく聞いてください。エノクは神と共に歩んだ。そして——、

“エノクは神とともに歩んだ。神が彼を取られたので、彼はいなくなった。”(創世記5:24)

洪水の**前**に、です。彼は、“洪水前信者”でした。ダニエルが“燃える炉前信者”だったのと同じです。そうです。ダニエルが教会の型で、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴがイスラエルの型だったのです。彼らは、『3半』ではなく、『7』倍の熱さの火の中を行ったのです。『7』倍の熱さの火の燃える炉です(ダニエル3:19-)。そして彼らは、その『7の大患難』の中で救われたのです。彼らは、『7』倍の熱さの燃える炉の中でイエスに会ったのです。イスラエルが、7年大患難の最中に、彼らの真のメシア、真の救いの知識に至るのと同じです。その時、ダニエルはどこに居ましたか？彼は、そこには居ませんでした。どこに居たのか？彼は“上にあげられていた”上の位に上げられていたのです(ダニエル2:48)。『7』倍の熱さの燃える炉の“前”に。だから、彼はそこに居なかったのです。だから私は、教会の携挙は7年患難の前に起こらなければならないと、強く思うのです。

もう一つ、予型論をお話しして、それで終わりにしたいと思います。黙示録です。ちなみに、黙示録は簡単に理解できる書です。これには、いわゆる“神の概要”と呼ばれるものがあるのです。ヨハネに告げられました。

“そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。(黙示録1:19)

「この後に起こる事」とは、ギリシャ語で「メタ タルタ」。これが、この書の概要です。「過去」「現在」「未来」。そして1章は、「過去」なのです。ヨハネは、イエスが十字架にかかり、葬られ、よみがえり、栄光をおびたこと、過去の目撃者です。「現在」とは2章3章。2章、3章には何が書かれているか？教会史です。これが、我々のいる今です。7つの教会への7つの手紙、教会史、現在です。そして4章1節以降は、22章までずっと将来です。とても面白いのが、4章1節「この後…」“メタタルタ”です。ヨハネは、ラッパのような声で「ここへ上れ。」と言われます。彼は上にあげられます。そして彼は、“その後”に見たことを、全て記しているのです。“どの”後ですか？教会史の後です。つまり2章、3章の後。そして、6章から19章はずっと、恐ろしい7年の大患難についてです。20章は、千年王国。21章、22章は、新しい天と、新しい地。美しい神の概要が、黙示録の中に書かれているのです。

何が言いたいのか？私が言いたいのは、黙示録の中で、「教会」という言葉は、1章、2章、3章の中に19回出てきます！4章では、教会という言葉は一度も出てきません。6章から19章の大患難について書かれているところでも、「教会」は一度も出てきません。なぜか？それは、大患難の時、教会はそこに居ないからです。もう一度言いますが、黙示録1章、2章、3章で「教会」という言葉は19回出てきます。なのに、4章1節以降は、一度も出てこないのです！7年の大患難の前に、携挙は起こります。

エステル記にある予型論について、お話ししましょう。エステルは、イスラエルの型です。モルデカイは、キリストの型です。彼は、反キリストの型であるハマンを打ち負かし、彼が全ユダヤ民族を殺す代わりに、モルデカイに冠が与えられる。キリストの型です。ちなみに、全ユダヤ民族を殺す計画、それが反キリストが行う事です。よって、ペルシャ・イランのイスラエルを破滅しようとする試みは、阻止され、そしてその終わりの時、諸国は主が神であることを知るのです。

エゼキエル 38:23 で終わりたいと思います。このエゼキエル 38 章預言の、とても面白い詳細が書かれています。よく聞いてください。

“わたしがわたしの大いなることを示し、わたしの聖なることを示して、——”

これは、彼らがイスラエルに攻め込んで、失敗に終わった後の話です。主は宣言されます。

“わたしがわたしの大いなることを示し、わたしの聖なることを示して、多くの国々の見ている前で、わたしを知らせるとき、彼らは、わたしが主であることを知ろう。” (エゼキエル 38:23)

これが質問です。今日の私たち全員に対する問いかけです。

あなたは、主を知っていますか？あなたは、主の御名を呼び求めて救われていますか？

みなさんに、『救いの ABC』をシェアしたいと思います。「また?!」と思いましたね？そうです、またです。福音のメッセージの、とてもシンプルなところが、私は大好きなのです。福音とは、良い知らせという意味で、

「あなたの負債は支払われ、あなたは自由だ。」

これが良い知らせです。あなたの負債は支払われたのです。イエス・キリストによって全額支払われたのです。彼が十字架にかかり、あなたの代わりに彼が血を流したのです。

A=Admit (認める)

自分が罪人で、救い主が必要であることを認めるのです。聖書にはこうあります。

“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができません” (ローマ 3:23)

“義人はいない。ひとりもない。” (ローマ 3:10)

ただ一人、イエス・キリストだけです。

B=Believe (信じる)

イエス・キリストが主であり、十字架にかかり、葬られ、死からよみがえった事を信じるのです。イエスが主です。

C=Call (呼び求める)

そして、心で信じた後は、口で Confess (告白) する、主の御名を Call (呼び求める) のです。ローマ 10:13 にはこうあります。

“主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。” (ローマ 10:13)

ここに居る方の中で、もしくは、これをインターネットでご覧になっている方の中で、これまでに、一度も主の御名を呼び求めた事の無い人は、どうか今日、呼び求めてください。

祈りましょう。

愛する天のお父様。ありがとうございます。あなたのみことばに感謝します。あなたのみことばの中で、あなたの戻られる時、終わりの時に、世がどのようにになるかを詳細に説明して下さり、感謝します。主よ。私たちが周りを見回すと、これらの点と点とがつながって、あなたがそうなると言われた通りになっています。だから主よ。今日、ここに居る人の中に、またはこれをインターネットか何かで観ている人の中に、あなたの御名を呼び求めた事の無い人、永遠をあなたと過ごす事と確信できない人が居るなら、彼らが今日、たった今、ここで、確かなものとするようにと祈ります。彼らがあなたに降伏し、あなたを呼び求めますように。心で信じて口であなたが主だと告白しますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

※黙示録まとめ

「過去」：1章…イエスが十字架にかかり、よみがえられ、栄光をおびた。

「現在」：2、3章…教会史

「未来」：4、5章…教会の携挙、天国について

6-19章…7年大患難時代

20章…千年王国

21、22章…新しい天と新しい地

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにしてはならない。」

ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい